

No. 923

企業

zoom up

八重洲電業社

社員思いの社長が率いる
電気工事の技術者集団

電気設備のない建物を想像できるだろうか。何百年も前であればそれが普通であろうが、現代ではその建物を生活空間と考えるのは難しい。今回紹介する(株)八重洲電業社は、そんな建物や街に電気を通わせることで価値を与え、今年で設立から54年を迎えた。長年培ってきた技術と信頼とともに、社会に貢献し続けている電気設備工事業者だ。

住宅や商業施設、学校、公共施設、体育館、オフィスビルなど様々な建物の電気設備工事を請け負っており、小規模な案件から官公庁や大手企業発注の大規模案件まで幅広く対応できるノウハウを持っている。最近では筑波大学の電気設備改修工事や東京大学の図書館、世田谷区の区民センターの案件などを請け負っている。その他、街路灯の新設・補修整備工事なども手がけている。

来る2020年の東京オリンピックを控え、再開発が盛んなこともあり、依頼の声はかかるものものすぐには受注しない。「適正な利益が出るのかを吟味することが大事」と語る廣瀬社長。その背景には、社員に対する思いが隠されていた。「大事なものは社員がきちんと生活していけること。適正な利益の出ない仕事や極端な工期が求められる仕事は社員が疲弊してしまうだけだし、安全が必ずしも確保できないしね」と、廣瀬社長は社員の心身の安全を第一としている。そうしたなかで、付加価値をいかに提供できるかが大切だと考えている。顧客の要望に対して、予算を変えずにそのご要望以上のものを提案するなど、顧客と会う際には「ハッとさせられるような、1つ期待以上のことをできるように」と日々社員に伝えている。

社長就任以降、人材力の強化に注力しており、

神頼みはしないが、年に1度、お伊勢参りに行くという廣瀬誠社長



社員が主体的に活躍できる環境を作り上げてきた。ワンマン社長になるのではなく、働きやすい環境の中、社員とともに成長していくことを目指している。こうした取り組みが奏功し、「ユースエール認定制度」の認定を受けた。これは厚生労働大臣が、若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を認定する制度である。そして今後、さらに人材を増やしていきたいと考えている。昨今の人手不足問題は当社も他人事ではないが、上述のユースエール認定の取得などをアピールして、採用につなげている。また、ベテラン社員のプロとしての技術と信念を若手社員へ承継していくことも念頭においており、さらなる社内の活性化が期待される。

今年、本社を移転し、会社のイメージカラーの変更も行った。常に社員のことを考えている廣瀬社長を筆頭に、熟練した技術と信頼を兼ね備える社員とともに、心機一転した新生・八重洲電業社。今後の活躍に注目したい。

(取材・文／東京支社情報部 高田 一樹)

会社概要

(株) 八重洲電業社
 TDB企業コード：985825331
 法人番号：9010901012183
 東京都世田谷区桜新町2-28-16
 電話：03-5426-3511
 代表 廣瀬 誠 氏
 創業：1956年5月、設立：1964年1月
 資本金：2000万円
 事業内容：電気設備・電気通信・消防施設工事
 年売上高：約8億8580万円(2017年12月期)
<http://www.k-yaesu.co.jp/>